

# 2017年12月期 決算説明会

「農業女子プロジェクト」コラボ第3弾

**PUCHIMOWER**  
プチモあ



井関農機株式会社  
取締役 副社長執行役員  
富安 司郎

2018年2月15日

# 目次

1. 2017年12月期 業績の概要
2. 国内外市場の動向
3. 2018年12月期 業績予想

## <ご案内>

- ・本資料中の「予想比」につきましては、特に注釈がない場合、2017年8月10日公表予想(売上高の内訳については、11月13日見直し後のもの。)との比較増減を記載しております。

# 1. 2017年12月期 業績の概要

---

# ※業績のポイント

## 1～12月の状況(前期比)

### 国内販売会社

農機実売前年比微増。収益面では大幅改善

- 農機実売:101%
- 直系販社の収支構造改善効果:営業利益+7億円

### インドネシア 生産子会社 (PT.ISEKIインドネシア)

個社で黒字転換。事業全体で大幅改善

- インドネシア事業収益改善:営業利益+11億円  
(井関単体、国内製造所含む連結ベース)

### 中国 持分法適用会社 (東風井関)

持分法投資損益改善

- 持分法投資損益改善:経常利益+9億円

# 連結業績の概要

(単位: 億円、%)

	16/12期		17/12期		前期比 増減	予想比
	実績	比率	実績	比率		
売上高	1,531	100.0	1,584	100.0	+53	△21
(国内)	1,210	79.1	1,231	77.7	+21	△24
(海外)	321	20.9	353	22.3	+32	+3
営業利益	25	1.6	40	2.5	+15	±0
経常利益	16	1.1	42	2.7	+26	+1
親会社株主に帰属する 当期純利益	9	0.6	28	1.8	+19	△1
為替 米ドル	108.6		112.1		+3.5	+0.1
レート ユーロ	120.1		126.8		+6.7	+1.8

# 国内売上高の内訳

(単位:億円)

		16/12期 実績	17/12期 実績	前期比		予想比
				増減	備考	
農機 製品 農機 関連	整地機	276	282	+6	トラクタ:+6	△12
	栽培機	91	85	△6	田植機:△3	+4
	収穫調製機	209	204	△5	籾摺機:△4	△6
	小計	576	571	△5		△14
	作業機	190	197	+7		△1
	部品	144	147	+3		△3
	修理収入	52	54	+2		△1
	小計	386	398	+12		△5
	計	962	969	+7		△19
	施設工事	51	66	+15		+1
その他農業関連	197	196	△1		△6	
合計	1,210	1,231	+21		△24	

農機製品の減少を、作業機・部品・修理収入でカバー

# 海外売上高の内訳

・フランス子会社のみ9月決算のため、10-9月実績を連結している

(単位:億円)

	16/12期 実績	17/12期 実績	前期比		予想比
			増減	備考	
北米	107	91	△16	トラクタ: △14	△3
欧州	93	107	+14	トラクタ: +7 芝刈機: +6	+2
中国	32	38	+6	トラクタ: △9 田植機: +13	±0
アセアン	30	48	+18	トラクタ: +11 コンバイン: +11	+3
その他	20	27	+7	トラクタ+7	+3
製品計	282	311	+29		+5
部品その他	39	42	+3		△2
連結合計	321	353	+32		+3
中国事業を含む グローバル海外売上高合計	370	387	+17		+7
グローバル海外売上高比率	23.4%	23.9%	+0.5%		+0.7%

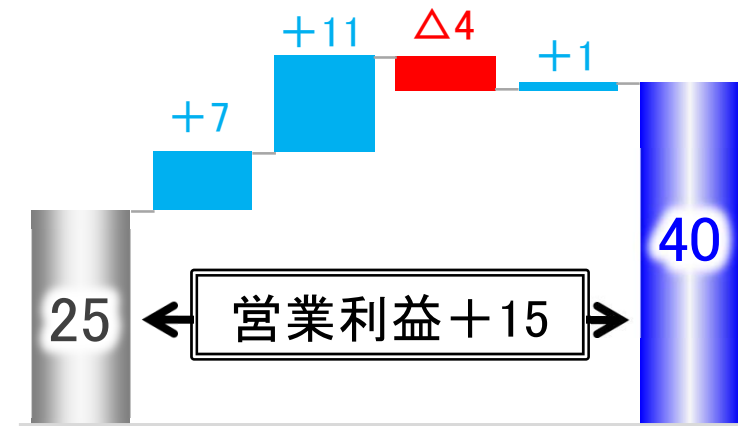
北米(特殊要因)を除き、全地域で増収

# 営業利益

(単位: 億円、%)

## 【前期比増減内訳(億円)】

	16/12期 実績	17/12期 実績	前期比 増減	予想比
売上高	1,531	1,584	+53	△21
売上総利益	449	462	+13	△8
粗利率	29.3%	29.2%	△0.1%	△0.1%
販管費	424	422	△2	△8
人件費	250	249	△1	△4
その他経費	174	173	△1	△4
営業利益	25	40	+15	±0



16/12期 ※① ※② 工事損失引当 17/12期  
※① 国内直系販売会社の収支構造改善効果  
※② インドネシア事業収益改善

## 【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+16	△10	△3	+3

前期比: 国内収支構造改善、インドネシア事業改善業績寄与  
予想比: 計画外の工事損失引当があったものの計画通り着地



# 経常利益、当期純利益

(単位: 億円)

	16/12期 実績	17/12期 実績	前期比 増減	予想比
営業利益	25	40	+15	± 0
金融収支	△ 7	△ 7	± 0	± 0
その他営業外損益	△ 2	9	+11	+ 1
経常利益	16	42	+26	+ 1
特別利益	12	5	△ 7	± 0
特別損失	△17	△ 9	+ 8	△ 6
税 前 利 益	11	38	+27	△ 5
税、税調整額	△ 2	△10	△ 8	+ 4
親会社株主に帰属する 当期純利益	9	28	+19	△ 1

## 営業外損益増減内訳(前期比)

持分法投資損益	+ 9億円
為替差損益	+ 3億円

## 【持分法投資損益増減】 (億円)

16/12期	17/12期	増 減
△11	△2	+9

## 特別損益増減内訳(前期比)

投資有価証券 売却益(減)	△11億円
災害損失(減)	+11億円
震災補助金(増)	+ 5億円
違約金(増)	△ 4億円

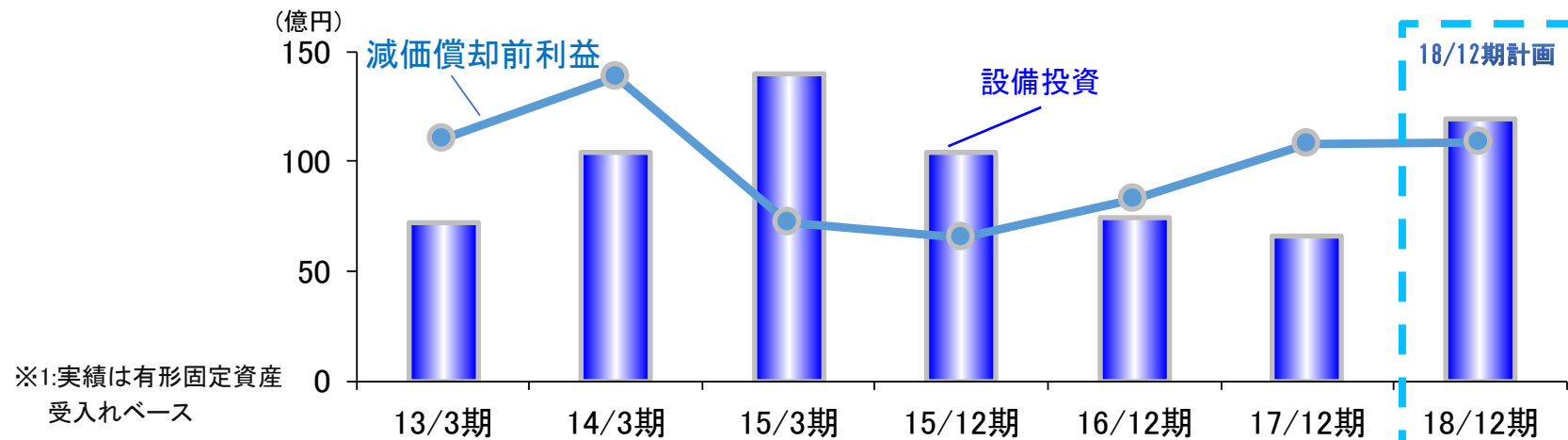
持分法投資損益(東風井関)好転も、赤字は残る

# バランスシート(連結)

(単位:億円)

	16/12月末	17/12月末	増減		16/12月末	17/12月末	増減
現 預 金	139	80	△59	仕 入 債 務	424	407	△17
売 上 債 権	249	251	+ 2	有 利 子 負 債	695	663	△32
棚 卸 資 産	493	534	+41	( 内 借 入 金 )	(614)	(596)	(△18)
( 内 製 品 ・ 商 品 )	(420)	(454)	(+34)	そ の 他 負 債	243	234	△ 9
そ の 他 流 動 資 産	48	52	+ 4	負 債 計	1,362	1,304	△58
流 動 資 産 計	929	917	△12	純 資 産	671	709	+ 38
有 形 ・ 無 形 固 定 資 産	975	966	△ 9	( 利 益 剰 余 金 )	(140)	(165)	(+25)
投 資 そ の 他 資 産	129	130	+ 1	( 有 価 証 券 評 価 差 額 金 )	(12)	(18)	(+ 6)
( 投 資 有 価 証 券 )	(63)	(71)	(+8)	( 為 替 換 算 調 整 勘 定 )	(8)	(11)	(+ 3)
固 定 資 産 計	1,104	1,096	△ 8	負 債 ・ 純 資 産 計	2,033	2,013	△20
資 産 合 計	2,033	2,013	△20				

# 設備投資の推移



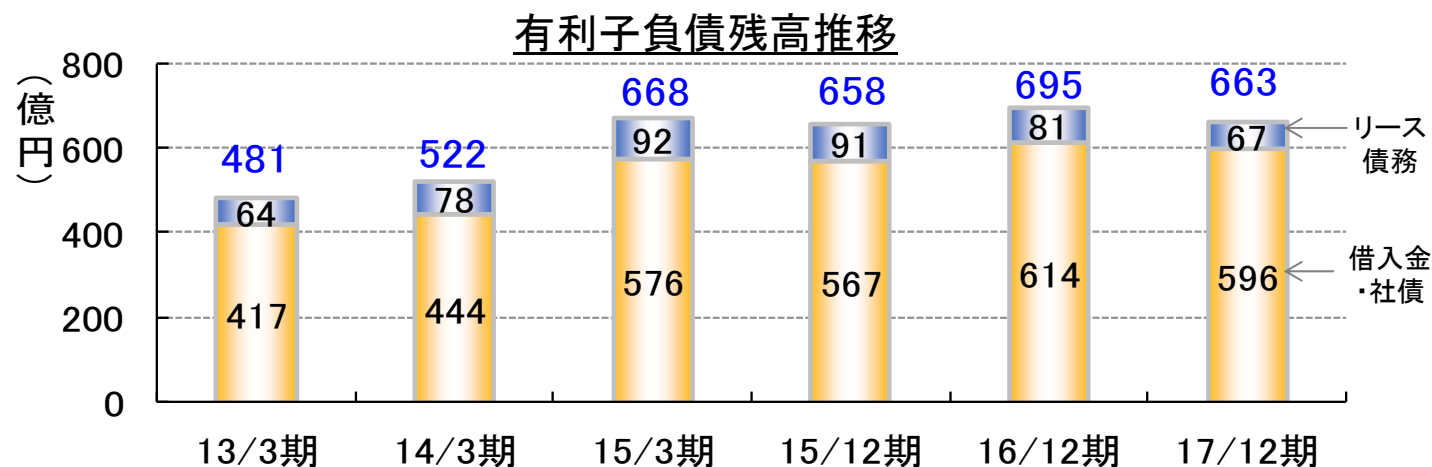
A設備投資 ※1	72	104	140	104	74	66	119
B償却前税前利益	110	138	72	65	83	108	109
B-A	+38	+34	△68	△39	+9	+42	△10

## 【17/12期の設備投資の主な内容】

国内営業拠点等	(億円) 13
生産設備(新機種、生産性向上、効率化等)	20

# 有利子負債と配当

## 1. 有利子負債



D/Eレシオ(倍)	0.76	0.76	0.94	0.97	1.04	0.94
自己資本比率(%)	34.3%	34.0%	34.0%	33.0%	32.2%	34.4
有利子負債(億円)	481	522	668	658	695	663
純資産(億円)	629	687	711	681	671	709

## 2. 配当

(単位:円)

	15/12期実績	16/12期実績	17/12期予定
期末配当	1.5	1.5	30

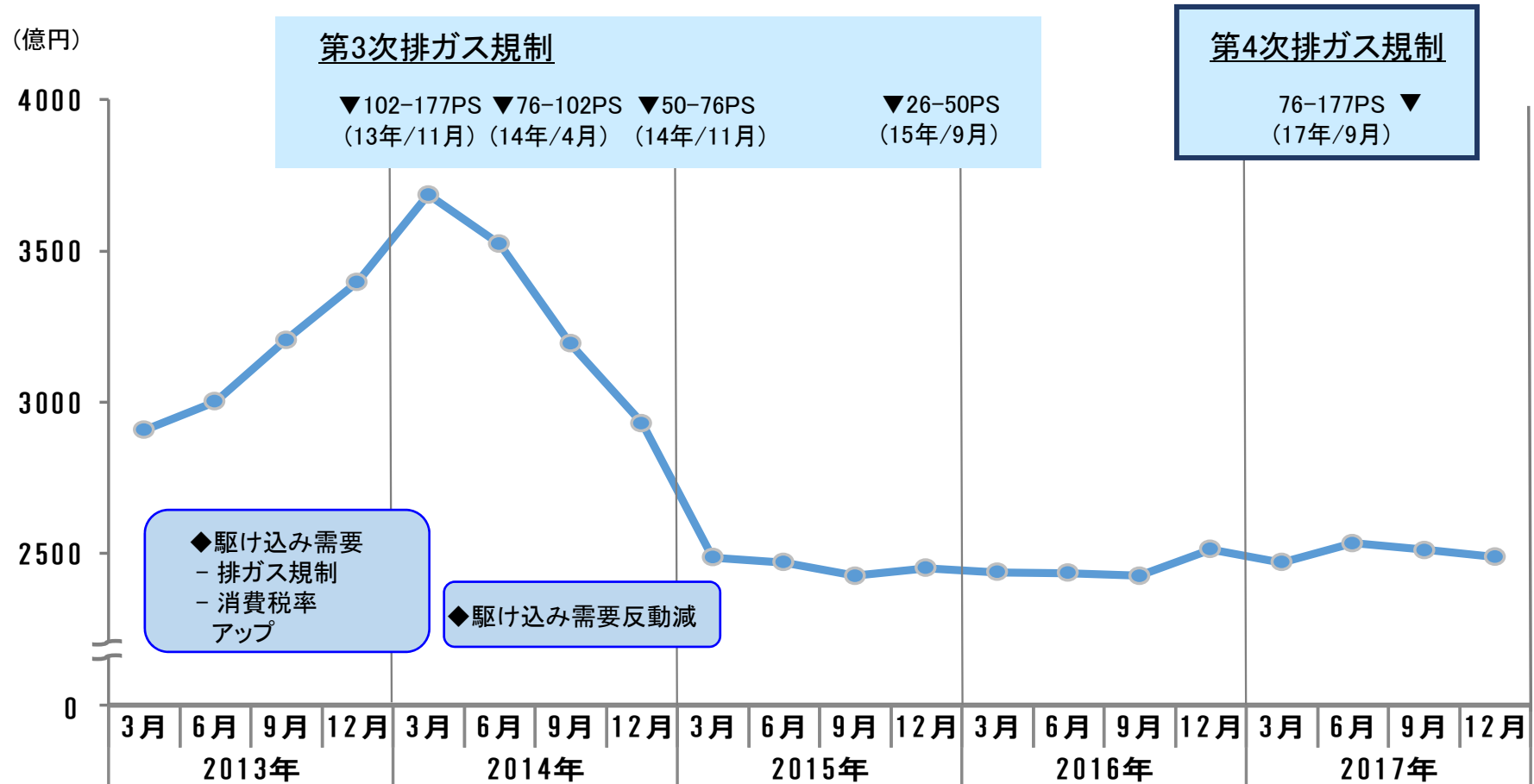
※2017年7月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。

## 2. 国内外市場の動向

---

# 国内市場の動向

農機需要〔業界出荷〕(主要9機種・移動年計)



排ガス規制による出荷先行はあったものの、基本横ばい

# 国内農機出荷と当社状況

## 主要9機種 前年伸長率(金額、移動年計)

※当社推計

(単位: %)

		14/12	15/12	16/12	17/12
業界	(出荷金額)	86	84	103	99
当社	(実売金額)	92	94	90	102

需要は前年並み。実売は微増

# 国内 トピックス

(株)中セキ信越が新潟市と連携しスマート農機の実証試験を実施

## ■ 国家戦略特区でのICT農機による実証試験



ICT田植機  
(可変施肥田植機  
・多目的田植機)



ICTコンバイン(収量センサ付)



可変施肥を行った圃場



可変施肥を行わなかった圃場



- ・可変施肥田植機 : 倒伏軽減による作業効率化・品質安定化
  - ・収量コンバイン : 収穫量をデータ化、収穫後の作業計画、翌年の施肥設計等を効率化
- ⇒可変施肥田植機と収量コンバインの組み合わせで、省力、低コスト農業に寄与



# 国内 トピックス(農業関係ICTサービス強化)

「アグリサポート」(井関農機株式会社)と  
「アグリノート」(ウォーターセル株式会社)の連携について (2018年2月14日公表)



(農機情報管理・分析ツール)





アグリサポート  
イメージ図

作業管理サポート  
Work management support

- 肥料・薬剤散布の管理
- 圃場の作業管理
- 作業工程の記録

機械管理サポート  
Machine maintenance support

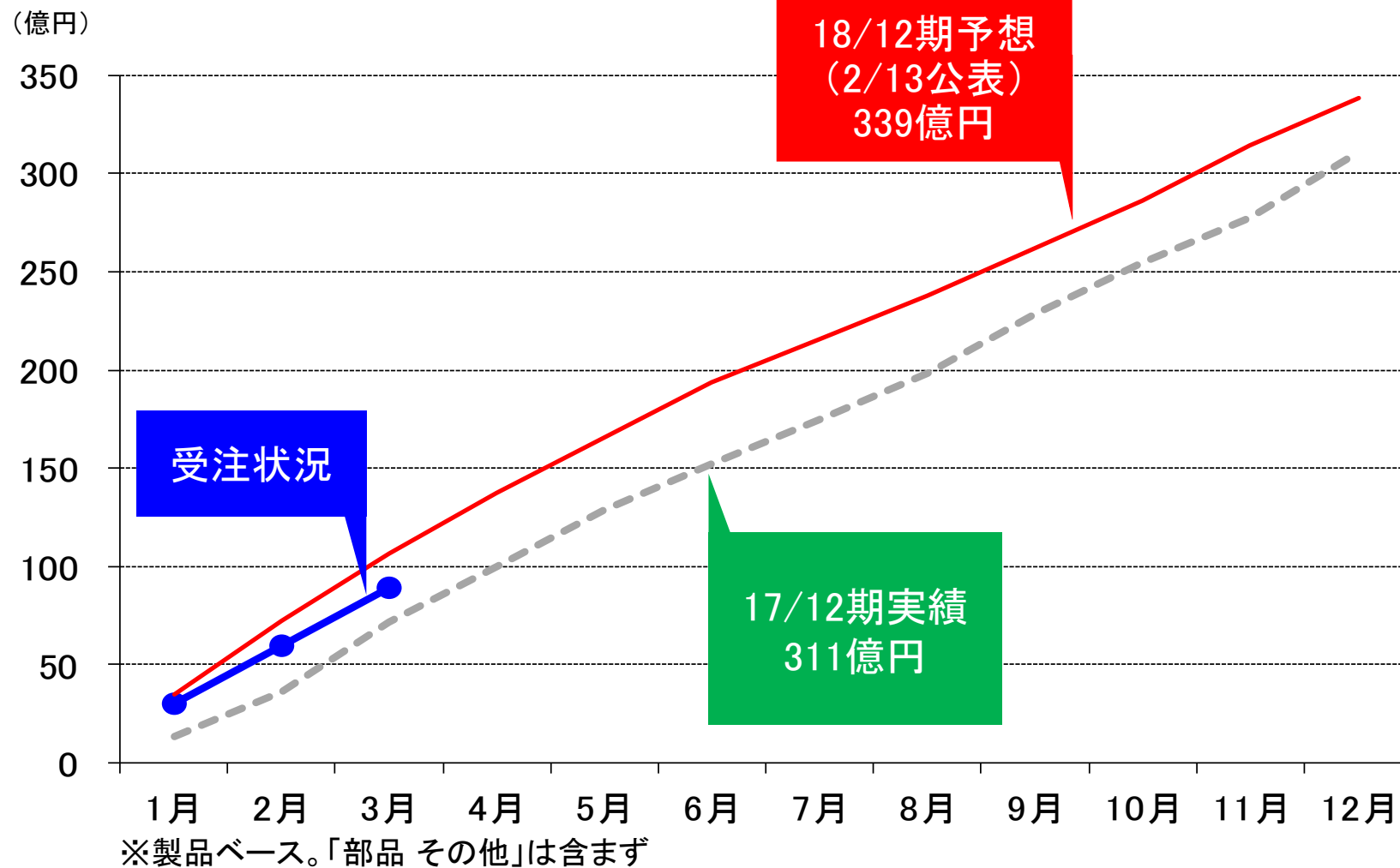
- 本機情報の管理
- アラート情報の管理
- アラート発生情報



(営農情報管理ツール)

2018年春より提供開始。作業の見える化による農業経営支援強化

# 海外製品売上の直近状況



1-3月は計画に対しやや弱含みで推移

# 海外市場の動向(北米)

## 1. 市場の動向

(単位:千台、%)

区分(PTO馬力)	ユーティリティ (40~100HP)		コンパクト (40HP以下)		大型クラス (100PS以上)	
	米国	カナダ	米国	カナダ	米国	カナダ
2016年1-12月	57	6	63	133	12	145
2017年1-12月	57	7	64	144	14	158
増減率	100%	112%	101%	108%	120%	109%



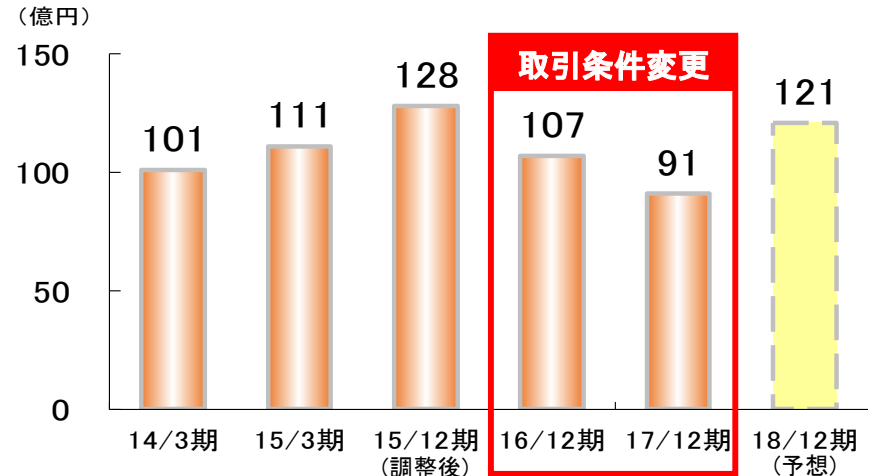
(出所:AEM統計)

## 2. AGCO社(OEM先)の状況

実売台数(17/1-12月)

- ユーティリティ : 前年を上回る
- コンパクト : 前年を上回る

連結売上高(当社→AGCO社)の推移



## 3. 当社の売上・受注状況

出荷・受注(18/1-3月) : 前年を上回る

17/12期は取引条件変更により減収  
18/12期はコンパクトを中心に増収計画

# 海外市場の動向(欧州)

## 1. 市場の動向

「農機市場の景況感は引続き高いレベルにある」(欧州農業機械団体(CEMA)レポートより)\*1/17公表  
一方、景観整備市場は天候要因大につき引続き注視。

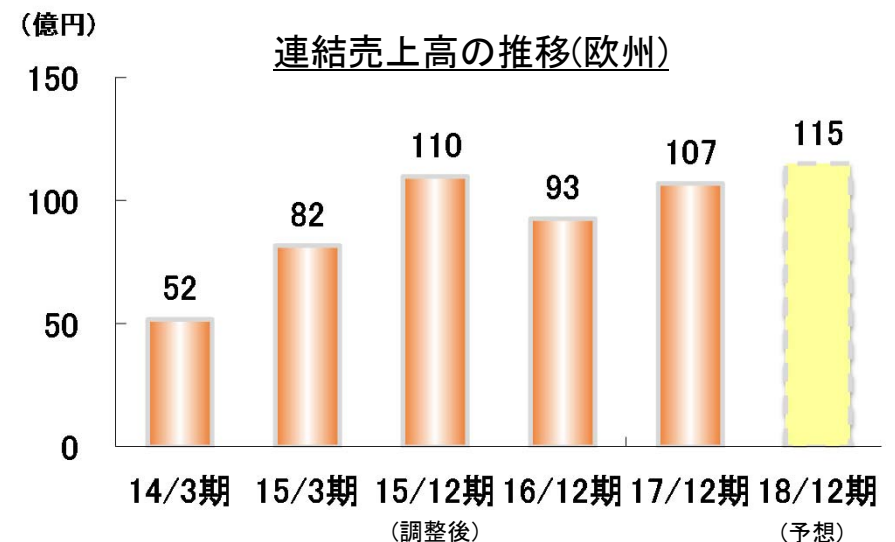
## 2. 販売代理店の状況

### ➤ 実売台数(17/1-12月)

- ・現地販売代理店 : 前年を上回る
- ・ISEKIフランス (連結子会社) : 前年を上回る

## 3. 当社の売上・受注状況

出荷・受注(18/1-3月) : 前年を上回る



引き続きISEKIフランスを核とした販売推進  
新規規制対応製品、モア新製品の本格販売

# 海外市場の動向（アセアン：タイ）

## 1. 市場の動向

足許では米価上昇。今後も米価上昇による需要増期待。

## 2. 現地販売会社[ISEKI SALES (THAILAND)]の状況

【三菱商事80%、当社20%出資】

### アセアン戦略トラクタ

- ・出荷台数(2017年)：前年を上回る

現地販売会社では販売網の拡充と  
タイ周辺国への事業領域拡大



# 海外市場の動向（アセアン：その他）

## ■ インドネシア

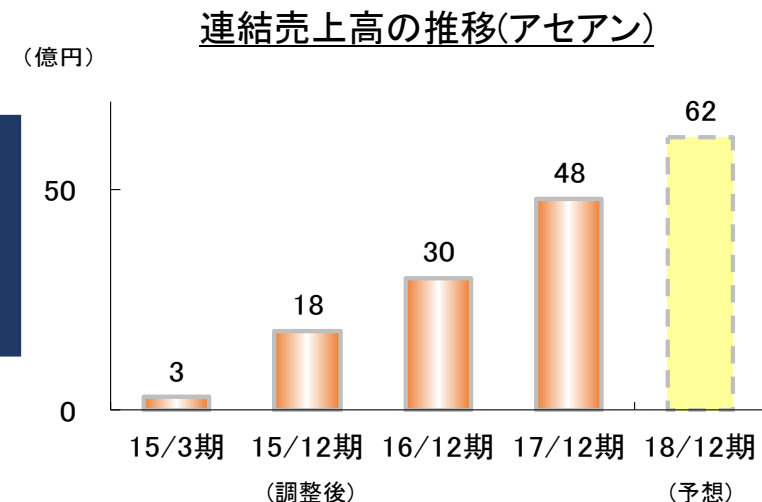
市場動向：2015年から続く政府主導の機械化推進による農機普及の後押し。  
当社状況：トラクタ、汎用コンバインを中心に受注獲得を計る。

## ■ その他(ミャンマー等)

市場動向：機械化進展により需要が見込める。  
当社状況：ISEKI SALES (THAILAND)、AGCO社と共に事業領域の拡大を計る。

## ■ アセアン総括

機械化進展による需要拡大  
タイを中心に前期比増収計画



# インドネシア事業収益改善

## PT.井関インドネシアの状況

(単位:台、億円)

	2014年 実績	2015年 実績	2016年 実績	2017年 実績	2018年 計画
生産台数	1,100	3,900	7,300	8,400	12,000
売上高	14	45	79	96	115
営業利益	△3	△4	△3	3	3※

※2018年は井関単体との単価改訂2億円を計画。実質営業利益は5億円。

## <PT.井関インドネシア増産体制へ>

現有生産能力  
**10,000台/年**



2019年: **15,000台/年**  
 2021年: **20,000台/年**

増産体制の構築に向け  
 計画通り推進中

# 海外市場の動向(中国)

## 1. 市場の動向

### ■ 中央政府補助金

(億元)

2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
215	217.5	238	238	237	186	未公表

(2018年2月15日現在)

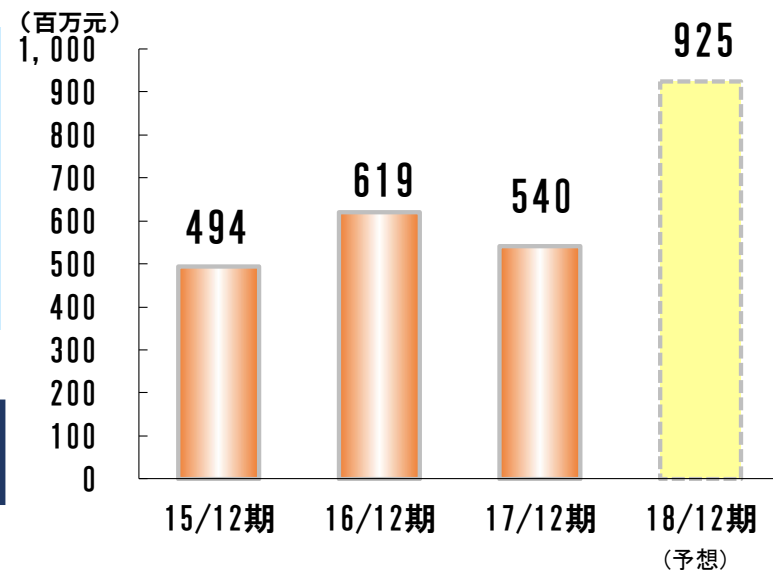
## 2. 東風井関の状況

### 東風井関の販売台数(17/1-12月)

- 田植機(乗用) : 前年を下回る
- コンバイン : 前年を上回る

先行受注堅調

### 東風井関売上高推移(現地通貨ベース)





## 3. 2018年12月期 業績予想

---

# 2018年12月期 連結業績予想

(単位: 億円)

	16/12期		17/12期		18/12期		前期比 増減
	実績	比率	実績	比率	予想※	比率	
売上高	1,531	100.0	1,584	100.0	1,645	100.0	+61
(国内)	1,210	79.1	1,231	77.7	1,262	76.7	+31
(海外)	321	20.9	353	22.3	383	23.3	+30
営業利益	25	1.6	40	2.5	45	2.7	+5
経常利益	16	1.1	42	2.7	43	2.6	+1
親会社株主に帰属する 当期純利益	9	0.6	28	1.8	32	1.9	+4
為替レート	米ドル	108.6	112.1	110	△2.1		
	ユーロ	120.1	126.8	130	+3.2		
為替感応度 <small>(百万円、営業利益ベース)</small>	米ドル			9			
	ユーロ			18			

※予想: 2018年2月13日公表予想

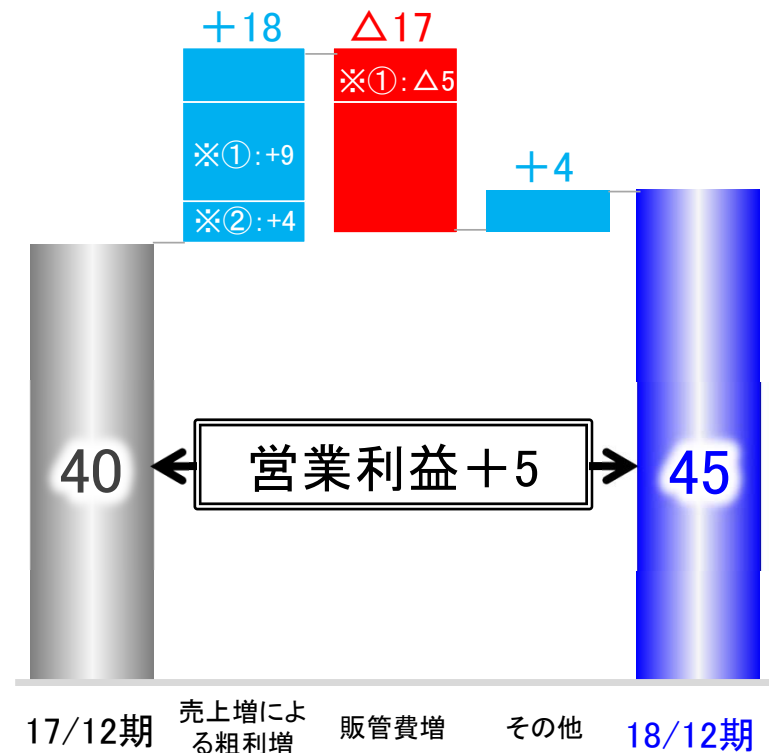
# 連結営業利益・配当予想

## 1. 営業利益

(単位: 億円、%)

	16/12期 実績	17/12期 実績	18/12期 予想※	前期比 増減
売上高	1,531	1,584	1,645	+61
売上総利益	449	462	484	+22
粗利率	29.3%	29.2%	29.4%	+0.2%
販管費	424	422	439	+17
人件費	250	249	259	+10
その他経費	174	173	180	+7
営業利益	25	40	45	+5

### 【前期比増減内訳(億円)】



## 2. 配当予想

(単位: 円)

	16/12期 実績	17/12期 予定	18/12期 予想※
期末配当	1.5	30	30

※予想: 2018年2月13日公表予想

※① 国内販社収支構造改善 : +4(粗利+9、販管費△5)

※② インドネシア事業収益改善 : +4

# (参考)国内売上高の内訳

(単位:億円)

		16/12期 実績	17/12期 実績	18/12期 予想※	前期比 増減	
農機 関連	農機 製品	整地機	276	282	297	+15
		栽培機	91	85	86	+1
		収穫調製機	209	204	203	△1
		小計	576	571	586	+15
	農機 関連	作業機	190	197	207	+10
		部品	144	147	149	+2
		修理収入	52	54	55	+1
		小計	386	398	411	+13
	計		962	969	997	+28
	施設工事		51	66	70	+4
その他農業関連		197	196	195	△1	
合計		1,210	1,231	1,262	+31	

※予想:2018年2月13日公表予想

# (参考)海外売上高の内訳

(単位: 億円)

	16/12期 実績	17/12期 実績	18/12期 予想※	前期比 増減
北米	107	91	121	+30
欧州	93	107	115	+8
中国	32	38	19	△19
アセアン	30	48	62	+14
その他	20	27	22	△5
製品計	282	311	339	+28
部品その他	39	42	44	+2
連結合計	321	353	383	+30
中国事業を含む グローバル海外売上高合計	370	387	491	+104
グローバル海外売上高比率	23.4%	23.9%	28.0%	+4.1%

※予想: 2018年2月13日公表予想

# 将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。  
 本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動  
**FOOD ACTION NIPPON**

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。



未来の  
 ために、  
 いま選ぼう。

井関グループは、  
 環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を  
 促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。  
 「賢い選択」の提案として「エコ商品」など  
 環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。